

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

四国カルストの拠点施設整備によるこれからの観光地づくりと魅力あるまちづくりプロジェクト

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

高知県

### 3 地域再生計画の区域

高知県の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### 4-1 地方創生の実現における構造的な課題

##### 【若者が定住したいと思う魅力あるまち（雇用の課題）】

対象施設の位置する津野町は、就職等による若年層の転出が多い一方で、近年は地域内で人手不足が課題となっており、このギャップは、若年層が魅力を感じる仕事がないことと津野町の地域資源の魅力に気付いておらず愛着がないことが要因となっている。

##### 【地域資源のブランド化（観光資源の課題）】

四国カルストや四万十川源流点など、知名度の高い観光資源を活かしきれておらず、観光主体で収入を確保する事業者は少ない。また、公的助成に依存した観光事業となっている。

日本三大カルストである四国カルストは、高知県・愛媛県の県境にまたがっており、隣接する県、市町村が、観光戦略において連携する体制ができていない。

四国カルストは標高1,400mにあり、景色や星を展望できるスポットだが、天候が不安定で1年の約半分が晴天ではない。

公園利用施設が老朽化しており施設自体に魅力がない。

利用客が集中する時期には渋滞が発生するほどであるが、雨期及び冬季が極

端に閑散期となるなど、知名度や有する魅力に対して観光入込客数が伸び悩んでいる。

日帰り客に提供するコンテンツが少ない。

#### 【ウイズコロナ時代への対応】

昨今のコロナ禍によりアウトドア観光の需要が高まっており、休日には多くの観光客が訪れ、渋滞が発生しトイレや駐車場が不足する状況であるが、設備のコロナ対策はほとんど行われていない。

働き方の変革により、観光地における施設と連携してワーケーションやサテライトオフィス等の需要も考えられるが、対応できる設備となっていない。

### 4-2 地方創生として目指す将来像

#### 【概要】

高知県は県土の84%を占める森林と清流、黒潮が育む豊かな海域に面した沿岸部など、自然環境に恵まれている一方、少子高齢化による人口の自然減、そして経済規模縮小で雇用が減り若者が県外に流出する社会減が進行しており、特に津野町を含む郡部の地域においては地域コミュニティや生活基盤の崩壊・消滅の危機に直面している。

対象施設のある四国カルスト県立自然公園は、高知県の北西部に位置する津野町の愛媛県境に位置する標高1,400mの山稜部であり、日本3大カルストの1つとして県内外に知られている。優れたカルスト地形として昭和36年に四国カルスト県立自然公園に指定され、宿舎である天狗荘、平成元年～5年度には公園利用施設であるカルスト学習館や、キャンプ場などの各施設を整備した。春の新緑、夏の避暑、秋の紅葉、冬の雪遊びと自然とのふれあいを求めて当地を訪れる観光客は多いが、整備から30年程度経過した施設は老朽化が進み、現在の利用形態に合わなくなっている。そこで、平成29年度から天狗高原観光の活性化を図る高知県と津野町との共同プロジェクトチーム（天狗高原観光活性化PT会）を設置し、津野町が実施する天狗荘のリニューアルと合わせて、周辺施設の改修を行うことを協議した。令和2年3月には「四国カルスト県立自然公園整備基本構想」を策定し、「宙（そら）を知り、地球（だいち）を感じるテーマパーク」をコンセプトに再整備を行うこととした。

知名度が高く重要な観光資源である四国カルストの魅力をも十分に活かし、今

後、貴重な自然を保護しつつ、地域への新たな人の流れをつくるために、県と町が連携して老朽化した各施設を改修、現在の利用形態にあうように再整備し、自然体験をテーマとした持続的な観光客誘致を進めることで、ポストコロナ時代の新たな観光地づくりをめざす。また、観光サービス、生産加工販売、地域連携を一体的にPRする津野町観光協会の窓口となる一般財団法人天狗荘がこれらの施設を管理運営することで、サービス業、生産業等への効果波及を生み、地域経済の拡大、雇用創出にもつなげる。このように四国カルストを核として、地元産業の活性化を進めることで「若者が定住したいと思う魅力あるまち」、「住民一人ひとりが誇りをもって暮らせるまち」づくりを行う。

#### 【数値目標】

K P I	事業開始前 (現時点)	2021年度増加分 1年目	2022年度増加分 2年目
売店、レストラン、カフェ等での地域産品の売上高(千円)	130,915	108,085	13,000
四国カルスト県立自然公園への入込者数(千人)	153	59	22
各種コンテンツ、イベントへの参加者数(人)	5,770	2,230	4,400

2023年度増加分 3年目	2024年度増加分 4年目	2025年度増加分 5年目	K P I 増加分 の累計
0	0	0	121,085
0	0	0	81
0	0	0	6,630

※ 数値目標について、2023年度以降は、2022年度までの水準を維持することを目標とするため、各年度の増加分としては0となる。

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2の③及び5-3のとおり。

## 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

### ○ 地方創生拠点整備交付金（内閣府）：【A3007（拠点整備）】

#### ① 事業主体

2に同じ。

#### ② 事業の名称

四国カルストの拠点施設整備によるこれからの観光地づくりと魅力あるまちづくりプロジェクト

#### ③ 事業の内容

本拠点整備事業では、四国カルストの地形・地質・動植物などの情報を展示・解説し、公園全体の利用案内を行っているビジターセンター「カルスト学習館」の再整備を実施する。再整備後の管理運営については、観光サービス、生産加工販売、地域連携を一体的に進める津野町観光協会の窓口となる一般財団法人天狗荘が行う予定。

【先行する宿泊施設地区（※津野町の令和元年度補正拠点整備交付金事業）の整備内容】

○宿泊施設「天狗荘」を改修し、星空客室整備やプラネタリウムを設置。

天狗荘を四国カルスト・星の拠点とし、魅力あるコンテンツを整備するとともに、悪天候時にも利用できるコンテンツであるプラネタリウムにより、地域全体のPRを行い入込客数を増やす。

【本拠点整備事業による再整備事業】

「カルスト学習館」の改修：本施設は天候に左右されず四国カルストの大地（自然・地形）などを楽しく学べ、公園全体の利用案内を行っているビジターセンター施設。展望デッキの増改築とカフェの整備によりゆっくりと滞在できるスペースを確保し、プロジェクターなどの整備を行うことで、視察時の説明会や、研修などはカフェで実施できるようにする。展示設備やトイレは非接触型の機器の導入により、新型コロナ感染症対策を行う。

天狗荘と学習館では地元食材等を活用した軽食や製品を販売する。また、

レクチャールームとキャンプ場や天狗荘を活用し、ワーケーションなどに利用できるネット環境を整備する。

その他、自然探勝区で利用するMTBバイクなど遊具の貸し出し、自然探勝イベントなど開催する。

#### 【再整備による天狗高原（四国カルスト）の売り出しポイント】

##### I 星空

標高と空気のきれいさ、人工照明の少なさを生かし、世界トップシェアの五藤光学（創設者が高知県出身）が手掛け、運営でも連携するプラネタリウム、天体望遠鏡

##### II 山岳観光

四万十川源流に位置する津野町内で、再整備を計画しているフォレストアドベンチャー（林野庁の森業山業創出支援事業に採択されており全国35か所目）や、同じくリニューアルする、きれいな水にしか生息できない川海苔「せいらん」を生かしたランチビュッフェが人気の自然体験宿泊施設「せいらの里」と合わせ、町内一帯での誘客、観光振興を図ることとしており、カルスト学習館は愛媛県側からの表玄関となり、四国カルストのみならず町内観光のビジターセンター的役割も果たす。

##### III 特異なカルスト地形と高山植物

日本3大カルストの中でも最も標高が高く、1,400m級の山の、かつカルスト地形にしか生息しない高山植物が多く見られる。日本有数の植物園である牧野植物園も関与して植物についての情報を提供する。

また、延々と続くカルスト地形と、そこで放牧されている牛が草を食む景色は壮観であり、太平洋や須崎湾、室戸岬、足摺岬まで見渡せる景色は想像以上との感想を観光客からいただいている。

##### IV 食

特産の土佐茶や地元の四万十ポークを使った手作りのハム、土佐の田舎寿司、田舎饅頭などの販売を予定している。

#### ④ 事業が先導的であると認められる理由

##### 【自立性】

これまで自然公園利用施設での収入は、宿舎である天狗荘、キャンプ場

の売上げのみであったが、新たにカルスト学習館での軽食の提供やMTBバイク等遊具レンタルでの収入を見込む。また天狗荘客室の上質化により、1泊あたりの単価も上がり、収入が増加する。

#### 【カルスト学習館改修後の年間売上計画】

- ・カルスト学習館：これまで売上なし
  - 軽食2,400千円＋遊具レンタル等5,760千円＝8,160千円
- (先行して改修を行う天狗荘：
  - 宿泊（食事込み）80,677千円 → 180,943千円、
  - プラネタリウムなし → 32,000千円、
  - 日帰り客食事24,258千円 → 36,100千円 等)

#### 【官民協働】

(地方公共団体)

老朽化した利用施設の再整備は、民間事業者のノウハウを活かし方向性を定め、高知県や津野町が進める。

(民間)

利用施設の管理運営を、観光サービス、生産加工販売、地域連携を一体的にPRする津野町観光協会の窓口となる（一財）天狗荘が行い、自然公園内で提供する様々なアクティビティやコンテンツ、地元産品を使った商品の開発、二次交通の整備などにおいて、地元企業と連携して取り組む。また、四国カルスト観光の窓口を観光協会へ一元化し、「四国カルスト」ブランドの発信拠点として整備する。

星フェスやMTBバイクツーリングイベントなどを、専門的なノウハウを持つ民間事業者と連携して開催し、集客力を向上させる。

※観光協会の構成員として、四国カルストの管理運営を担う（一財）天狗荘、津野町に加え、民間の食材加工会社及び地場産品販売会社が参加する。

(日本みどりのプロジェクト)

「グリーンリカバリー」による地方創生を図ろうとする「日本みどりのプロジェクト」に参加する高知県の主要施設として、官民連携による地方創生を実現する。

新たなライフスタイルに則した観光を推進する「Go Greenプロジェクト」により、四国カルストを核とする奥四万十エリアに観光客を誘い、参加する民間企業のテレワークにも対応する整備を行う。

### 【地域間連携】

#### ○高知県と津野町

県と施設管理運営者である津野町が連携して四国カルストの各施設の再整備に取り組む。津野町は宿泊施設「天狗荘」の改修、イベントやコンテンツの導入に取り組み、観光協会による窓口運営体制の整備を進める。全国的に知名度の高い「四国カルスト」への誘客を促すことで、高知県高幡エリア全体の集客数の底上げがなされる。

#### ○高知県と愛媛県

四国カルストは本県と愛媛県にまたがるエリアであるため、隣接する愛媛県久万高原町と、コンテンツ整備や周遊イベント等に連携して取り組むことで、効果的に「四国カルスト」のブランド化が図られる。

※四国カルストの観光振興に向けた自治体連携として、高知県、愛媛県、高知県津野町、愛媛県久万高原町が参加し、特に愛媛県側からの渋滞を引き起こしている狭隘なアクセス道路の改修のほか、メディアへの発信、共同イベント、レンタサイクル、四国カルストにちなんだ飲食メニューの共同開発など、観光振興にかかる連携事業を行うこととしている。

### 【政策間連携】

これまで観光地として知名度がありながらも、関係機関、事業者がばらばらに取り組んでいたため、地域資源を活かしきれていなかったが、観光協会による総合的なプロデュースにより「四国カルスト」のブランド化を図ることにより、地元事業者の収益向上、自然体験アクティビティや地元産品の活用促進で地域の振興を図る。

#### ●連携政策①【中山間地域の所得確保】

天狗荘やカルスト学習館等で提供する地元食材や加工品の開発を促進し、交流人口の増加に伴い、観光事業者や店舗、運送業者など周辺地域経済への波及効果が見込まれる。

### ●連携政策②【若者の県内就職の促進】

各施設において、収益を伴うコンテンツやアクティビティが増加することで、これに携わる人材が必要となり、地域雇用が増加する。

自然や観光の面で重要な地域資源である「四国カルスト」のブランド化により、津野町の魅力が地域内外の多くの人に知られ、地域内の住民の郷土への理解と愛着、地域外の住民の移住への動機付け、定住促進、雇用につなげる。

### ●連携政策③【観光政策】

観光協会が主体となって、季節ごとの自然の魅力やイベント等の情報発信、宿泊やアクティビティの予約管理を行い、利用者にとってより便利で目につきやすい環境をつくる。

当地域は山間部に位置し交通の便が悪いため、自治体や民間企業が協力し、シャトルバスや大型タクシーの運行、レンタル自転車の配置など二次交通の整備に取り組む。

### ●連携政策④【自然保護】

貴重な自然が残る当地域において、ビジターセンターであるカルスト学習館で動植物の紹介や植物観察ツアーなどの普及事業を実施することで、自然の魅力を伝えるとともに、オーバーツーリズムによる自然破壊を未然に防ぐ。

地元の子どもたちにカルスト学習館での普及事業に参加してもらうことで、地域の自然や動植物への関心を醸成し、将来的な環境保全人材の育成につなげる。

## ⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4-2の【数値目標】に同じ。

## ⑥ 評価の方法、時期及び体制

### 【検証方法】

毎年度6月頃に、外部組織評価委員会にて検証を行う。

整備中（事業実施中）は、整備後の効果が最大限になるよう、KPIを踏まえ関係各機関が協議や準備を進める。

整備中は上記会において進捗状況を報告し、意見を踏まえ軌道修正を



図る。

整備後は、上記会において交付対象事業による効果のK P Iに基づく分析、評価を行い、改善につなげる。

#### 【外部組織の参画者】

住民代表、民間事業者（地場産品加工販売等）、津野町森林組合、津野町商工会、高知県立大学、東京農業大学、土佐くろしお農協、県内観光情報誌出版社、高知県、津野町社会福祉協議会、津野町職員労働組合、津野町教育委員会、津野町農業委員会、津野町PTA連合会等を想定

#### 【検証結果の公表の方法】

整備後に議会に報告し、審議いただくとともに、毎年度ホームページで公表する。

#### ⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・ 法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】  
総事業費 176,278千円

#### ⑧ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2026年3月31日まで

#### ⑨ その他必要な事項

特になし。

### 5-3 その他の事業

#### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし。

#### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

##### (1) カルスト学習館活用事業

###### ア 事業概要

カルスト学習館の供用開始に伴い、以下の取組を実施

- ・ 四国カルストのビジターセンターとしての機能を果たし、カルスト内の回遊性を向上させるとともに、観光協会とも連携して交流人口の増加に寄与。

- ・ 宿泊施設である天狗荘と連携し、天狗荘プラネタリウムとは異なるコンテンツの利用促進により、相乗効果を生み出す。
- ・ Eバイクの貸出し、地場産品を活用したカフェの運営等により四国カルストでの観光収入増と地域の産業振興に寄与。
- ・ コロナ禍に対応するテレワークやワーケーション機能の発信による誘客の拡大。

**イ 事業実施主体**

高知県

**ウ 事業実施期間**

2021年4月1日から2026年3月31日まで

**6 計画期間**

地域再生計画の認定の日から2026年3月31日まで

**7 目標の達成状況に係る評価に関する事項**

**7-1 目標の達成状況に係る評価の手法**

5-2の⑥の【検証方法】及び【外部組織の参画者】に同じ。

**7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容**

4-2に掲げる目標について、7-1に掲げる評価の手法により行う。

**7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法**

5-2の⑥の【検証結果の公表の方法】に同じ。